

事業所名		Liebe上条		支援プログラム		作成日		令和7 年		12 月		23 日	
法人（事業所）理念		差別のない一つの社会を創造する											
支援方針		お子様の個性を尊重し、生まれもった魅力や得意分野を知り、深め、更なる能力向上をともに目指す。 また社会に適応するための力を付け、ご家族様とともに、次のステージへの移行を目指します。											
営業時間		平日 10 時 00 分から 19 時 00 分まで 学校休業日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで				送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・施設で過ごす中で、手洗い・排泄等、生活に必要な基本的技能の習得ができるよう支援を行います。 ・お子様の障がいの特性及び発達過程・現状等に配慮しつつ、お子様の心身状態を確認し、異変があれば早急に対応します。 ・施設で安全に楽しく過ごせるよう、お子様の心と体の成長に応じて支援します。											
	運動・感覚	・サーキット等の運動を取り入れ、体幹能力を高め、バランス能力を育みます。 ・ホールでの活動においては、ボール遊び等の機会をもち、粗大運動や協調運動を通した運動能力の向上を図ります。 ・工作活動を通して、お子様の自由な発想、構成させるための、創造力や手指の巧緻性を育みます。 ・聴覚刺激や視覚刺激等を使う活動により五感(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)への意識を高め、機能の向上を図ります。 ・音楽の活動において、感覚の刺激や心の発達を促します。											
	認知・行動	・1日の活動を示すタイムスケジュールの確認をすることで、時間の認知形成を促します。また、天気、気温、日付等の理解を深め、生活に必要な認知能力向上を促します。 ・ビジョントレーニングを通して、視空間認知能力、注意機能、協調運動等の向上を図ります。 ・集団でのルール性のある遊びや活動を通して、決められた課題をルールに沿って行えるよう、理解を促します。											
	言語 コミュニケーション	・職員や他児との信頼関係を深め、意思を伝えやすい関係性を築くことを目指します。 ・グループワークを通じてコミュニケーションの向上を図ります。 ・必要に応じて絵カード、ジェスチャー等の非言語コミュニケーションツールも活用し、理解・発信能力の向上を図ります。											
	人間関係 社会性	・社会生活において善悪が判断ができ、他者および自己理解の上、集団生活を無理なく過ごせる力を育みます。 ・公共施設を利用する際は、ルールやマナーを知り、適切な行動が取れるよう促します。											
家族支援		・必要に応じて面談の機会を設け、お悩みや困りごとへの相談援助を行います。 ・お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助や施設での取り組みに応じたペアレントトレーニングを実施いたします。 ・保護者様同士の交流の機会を設けます。（不定期開催予定）				移行支援		・進級や進学で不安定になりがちな移行時のサポートを行います。 ・お子様のライフステージに合わせて保育所、学校、相談支援事業所等との日常的な情報共有を行います。 ・必要に応じて、保育所、学校、相談支援事業所等への訪問や会議等を実施し、お子様の状況や生活環境などの情報連携を図り、課題の把握に努めます。					
地域支援・地域連携		・相談支援事業所等、本児との関わりのある機関との連携を図ります。 ・活動先で本児が安全に過ごすための必要な配慮等を情報共有の元、施設外に出ても本児が安心して過ごせるための環境や体制を整え、同行を行います。 ・必要に応じて行政や社会福祉協議会が開催する事例検討会等に参加します。				職員の質の向上		・支援計画に基づいてお子様に関する情報共有を行い、お子様の成長に合わせた最良の支援を目指します。 ・社内マニュアルの策定と実施、定期的な見直しを行います。 ・外部研修への参加をし事業所間での情報共有を行うことで、支援の質の向上を図ります。 ※研修内容例： ①ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ②制度に関する研修 ③療育に関する研修④虐待防止及び身体拘束に関する研修 ⑤事故防止に関する研修 ⑥感染症に関する研修 ⑦防犯に関する研修 ⑧災害に関する研修 等					
主な行事等		《日常プログラム》2025年時点 ・運動 ・感覚統合 ・道徳と生活 ・言語 ・防災・避難訓練（月1回開催） ・音楽療法（月1回開催）											